

第9回新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会（‘10.10.15）

平成22年度第9回新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会要旨

1 出席者について

（委員）

深澤良彰会長、中村廣子委員、持谷寿夫委員、山口春代委員、神崎健也委員、馬場章夫委員、百足山昌子委員、森美樹子委員、猿橋敏雄委員、蒔田正夫委員、野田勉委員（以上11名）

（関係所轄担当課長）

橋口区政情報課長、針谷企画政策課長、木内行政管理課長、赤堀情報政策課長、山下施設課長、景観と地区計画課長（代理）、竹若教育政策課長（以上7名）

（事務局）

松田新図書館・学校情報化推進担当副参事、田辺中央図書館管理係主査、土谷企画政策課主査、宮下管理係主任、東管理係主査、磯上利用者サービス係長（以上6名）

2 場所

新宿区役所本庁舎5階 大会議室

3 実施場所

平成22年10月15日（金）午前10時30分から正午まで

4 開会

【 会長 】

きょうもお忙しいところお集まりいただき、御礼申し上げます。

昨年9月から始まったこの委員会も、本日をもって最終回となる予定である。後ほど区長、教育長においでいただき、この委員会でご議論いただいた結果を答申としてお渡しできればと考えている。

前回の委員会でパブリックコメントの意見などを受けまして、若干中間のまとめの修正についてのご議論を踏まて作成させていただいたものが、各委員の手元にある答申（案）である。前回からどのようなところに変更を加えたのかということに関して、事務局のほうから説明いただきたい。

【 事務局 】

パブリックコメントでいただいた意見等を踏まえ、修正させていただく点を一覧にまとめた。前回の策定委員会で意見をちょうだいして、今回修正させていただいた点について説明申し上げる。

「地域資源」ということについて、前回の策定委員会で地域資源という言葉についてわかりにくいというご意見をいただき、本文のほうに脚注を入れたほうがよいとの話になった。今回、本文のほうに脚注を入れさせていただいた。ただ、脚注の内容については、前回の議論をもとにいろいろ定義を調べたが、厳密な定義を書くと脚注の中にまた脚注を幾つもつけなければいけない文章になるため、「ここでは」という形で限定をさせていただき、わかりやすく説明を入れた。

2点目は、現在の中央図書館の跡地を中心とした地域館の配置の問題について。

前回の策定委員会の議論では、中央図書館の跡地についてパブリックコメントなどで非常に多くのご意見をいただいたことを踏まえ、前回の中間のまとめのままでなく、何か修正する必要があるだろうという議論であった。

そこで今回、区全体の図書館配置について検討する必要があるというような文章に現中央図書館が40年もの長きにわたり多くの方に利用されてきたこと、それから、近隣に地域図書館がないことというような2点を加えさせていただき、踏まえて検討をしていく必要があるというような記載に変えさせていただいた。

【 会長 】

パブリックコメントでいただいた大きなものは、跡地の活用の問題と名前の問題、それが大きな2つの問題だと思っている。それに対して、きょうここで前回の議論も受け答申（案）の中に織り込ませたが、よろしいか。もしよろしければ、きょうここにお配りした答申（案）をもって正式な答申として区に提出したいと思うが。

「委員から賛同の声」あり

【 会長 】

では、これからこの答申を区長、教育長に渡しさせていただきたいと思う。それから、委員の方にはこの委員会を通じた感想、あるいは（仮称）新宿メディアプラザに対する期待などを、1人1分ぐらいで後ほどお話いただければと思う。

その後、区長・教育長臨席のうえ、答申式を開催。深澤良彰策定委員会会長から、新宿区・新宿区教育委員会を代表して区長に答申を渡す。

新宿区長 様

新宿区教育委員会 様

答申書

新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会設置要領第2条に基づき、
平成21年9月10日付で当委員会に諮問いただきました

1. 新中央図書館等の機能と役割に関すること
2. インターネットや映像などの情報媒体、コミック、行政資料に対応したメディアセンター機能のあり方に関すること
3. その他新中央図書館等に関すること

以上、3点について別添のとおり答申いたします。

平成22年10月15日
新宿区新中央図書館等基本計画策定委員会会長
深澤 良彰

【 会長 】

ありがとうございました。

この委員会、1年2カ月にわたり委員の方のご意見をいただきながら進めてきた。この1年2カ月におけるいろいろな感想、今後この委員会でご議論いただいたものはどのように見守っていくかということに関するご期待など、委員の皆さまからいただきたいと思う。

以下、当日の発言をそのまま掲載

【 神崎委員 】

区民の委員として参加させていただきます神崎です。

区民の委員ということなので、専門家のような話はできないのですが、利用者側の立場から発言したいと思って参加させていただきましたけれども、口べたなものですから余り十分な発言ができなかったのですが、いろいろと皆さまとの意見も聞かせてもらいまして参考になりました。

区ということだったので、地域のこといろいろな発言と言いますかその兼ね合いという面ではちょっと発言にはなかなか難しい面があったのですが、全体としてよく取り入れていただいたということで感謝しております。後はこれから建設されるということなので、あり方としての検討をしたのですが、これからは建物本体の中身ということだけではなくて、インテリアだけではなくてエクステリアの部分もあわせていいものをつくっていただきたいと思います。ありがとうございました。

【 中村委員 】

地域関係団体・新宿区町会連合会から出させていただきました中村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

まず、この策定委員会に参加させていただきましたことを感謝申し上げます。皆さんと一緒に新中央図書館等の策定にかかわらせていただきまして、本当にいろいろなことを私によりその都市を見学させていただいたりしてこれに参加させていただきました。

豊かな人生の歩みに本当に知の拠点として今から建設が始まります図書館を皆さんに大いに活用していただいて、その中で情報をチョイスできるような図書館になってほしいと思いますし、本当に名実共に新宿区民、また、新宿を利用する方々に大いに役立つような図書館になっていただければと思っております。地域の中でもそういった期待が寄せられておりますので、今後、新宿区のほうでいろいろとお考えいただくときに、どうぞよろしくお願いいたしますと思います。

【 馬場委員 】

公募委員の馬場と申します。

私は公募委員ということでございまして、私がちょうど小学校に上がるころに今の中央図書館が開館したということでございます。私、子供もおるわけですがけれども、子供が小さいときはそこへ通わせて、近所にある図書館、そして、自分が卒業した戸山中学校の跡地に今度新しく図書館というところでもございまして、その私がここに座っているということで、私はもちろん専門家ではございませんので、基本的に言うと、区民の利用者の本当の末端の目線というところしか持っていないのですけれども、この議論に加えさせていただいたことは大変有意義だったと思います。

これからは多分激しい時代の変化の中でこの答申が出されておりますので、そういった中で大きく時代に対応した形で形ができていくのだろうと思いますので、これからは利用者となったときに、とてもいい図書館だったな、そのときにかかわれたなという思いができるようになっていただけたらなと思います。ありがとうございました。

【 百足山委員 】

公募委員として参加させていただきました百足山と申します。

新宿区に住むようになりまして、地域の中の図書館とかかわりを持ちたいと思ひまして、図書館サポーターという制度に応募して、そこから図書館とのかかわりが始まったのですけれども、そこで活動していく中で、新中央図書館の策定委員会の存在を知りまして、その公募のために作文を久々に書いたときに、新しい図書館はどんなふうになったらいいかなとじっくり考える機会を持って、それが一番楽しかったです。

それで、この委員会に参加させていただいて、いろいろな先生のお話もお聞きできましたし、そういったところでとても貴重な体験をさせていただいたと思います。これからも新宿区に住み続けていきますので、新しい図書館ができることに当たって、すごくわくわ

くした感じで今それを迎えております。ありがとうございます。

【 持谷委員 】

日本書籍出版協会の図書館委員会に所属しております持谷と申します。

私は出版に携わる人間として、新しい図書館、特に本と出会うこと、読者と出会うことのできる図書館ができるということには、非常に何よりも大きな喜びを感じています。本は人と出会う場所において出会っていただくことが何よりだと思っております。

出版、特に本の世界は、今まさに大きな変化の時代が訪れています。知恵や知識を伝える手だてが劇的なデジタル化という流れの中で変わっていく時代になっています。そんな中で、情報とともに知識や知恵を伝えていく役割としての図書館の役割というのは、かつて以上に問われている、求められている役割が大きくなっていくだろうと思われています。今、読書とは、出版とは、図書館とは、そういう原点に戻ってさまざまなことを考える大きないきっかけの時代になっていると思います。

今回、この委員会に参加させていただきまして、そういう原点に戻った話を考える、私にとってもいい機会になりました。人がかかわって育てていく図書館になってくれることを心から願っておりますし、出版する側としてもできる限りの協力をしていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

【 森委員 】

一般公募で応募いたしました森美樹子と申します。

私は区民でもありますし、新宿区の図書館スタッフという制度に8年ぐらい前から応募いたしました。西早稲田中・戸塚第二小学校に行っておりまして、その中で少しでもこういった図書館を新しくつくるといことでかかわれたらいいなと思ひまして、余り考えもしないで申し込んでしまったのですが、皆さん立派な方ばかりな中で、そういった立場から一生懸命一応意見を申し上げてきたわけですけれども、そういった中で、なかなかいろいろといいものができたのではないかと思っております。

最後に私、どうしてもちょっと心残りなことが1点だけございますので、申し上げさせていただきますと、それはもちろんこちらの委員会でも発言させていただきましたが、図書館の司書というかスタッフのことでして、できたら独自の制度で、ここの図書館で働きたいという方を全員でなくてもいいので、指定者管理制度というものも今ありますが、そういった意欲のある方をちゃんと司書の資格があつて、しかもきちんとやりたいという方たちを働かせていただけるような方法で採用していただけるとありがたいと思ひます。それこそがまさに新宿力につながることでないでしょうかと思っておりますので、可能であればということで、普通でしたら採用は23区内の試験等で決まって、そちらから派遣されて、そちらの図書館に行かれた方は司書の勉強をされるということですから、そういう手間を省いて、そこで働きたいという方をぜひとも雇っていただけたらというお願いでございます。

以上でございます。どうもありがとうございました。

【 山口委員 】

社会教育委員から出てまいりました山口と申します。

小学校のスクールコーディネーターをしております。本当に1年間どうもありがとうございました。お世話になりました。

今まではでき上がった図書館を利用するというだけで、疑問も何も感じず使っておりましたけれども、今回は自分たちのいろいろな意見を活かして、また、それが新しい中央図書館ができると思うととても楽しみで、本当にでき上がるのが楽しみだと思っております。

それと同時に、今までの中央図書館がなくなってしまうので、あそこを地域館として何が何でも残して、小さな形で残していただきたいという気持ちがとてもあります。それと、うちのほうの西落合にはいろいろな郷土史、皆さんが伝えて研究したり調べたりという資料があります。それも入れていただきましたので、とても満足しております。本当にありがとうございました。

【 深澤会長 】

どうもありがとうございました。では、最後に私から。

実は私の専門は図書館ではございません。私の専門はシステムづくり、ソフトウェアづくりです。ソフトウェアづくりというのは、最初に要求を集めて、つまり、どういうソフトウェアをつくるかをきちんと決めて、それに従って設計をし、その設計に従って実際につくっていくという、そんな順番で処理が進んでいきます。

その中で一番重要なのは何かというと、最初のフェーズである要求を集めるころだと思っております。この委員会で委員の皆さま方をお願いしてきたことは、まさにその要求を集めるころであったと思います。ですから、一番難しいところに対しまして委員の皆さま方のご協力を得まして何とか答申をまとめることができました。

きょうの答申の最後に委員名簿がございます。学識者4名、地域関係の代表の方4名、公募の方4名、それから、内部の方、途中でおかわりになりましたので一応3名という非常にバランスのとれた構成で、しかも、単に人数のバランスがとれているということだけではなくて、例えば公募の方でも皆さんスタートポイントが違って、多分こういう意見が欲しいなと、例えば本屋さんとしてのご意見が欲しいなと思って持谷さんの顔のほうをちらっと見ると何かそういうご意見がいただけたり、あるいは小学校はどうなっている？という意見が欲しいなと思って森さんの顔を見ると、そのようなことをご発言いただけたり、特にこの委員会の後半のほうではそういう皆さま方のご意見をできるだけ活かしながらやっていければいいなと思ってこの会議を進めてまいりました。まずはその委員の皆さま方に厚く感謝を申し上げます。

2つ目は、私、国の委員とかいろいろやったことがあるのですが、このように傍聴人の方がいらっしゃる会議の委員をさせていただいたことは、実ははっきり言いまして初めてでございます。それで、こうやって実はいつもこういうポジションで座っておりますので、

私からはじかに傍聴されている方のお顔を見ることができます。

すごくコンスタントにいらっしゃってくださっていた方、あるいはこの委員だけではなくて、区民の皆さまのご意見を伺うような場にもご出席されている方が多かったと聞いております。傍聴をされて、その結果をわれわれの委員会にいろいろな形で反映させていたいただいた方々にも感謝したいと思います。

それから、何よりも感謝したいと思っておりますのは、この委員会の事務局を務めてくださいました事務局の皆さん、松田さん、田辺さん、それから、宮下さんには深く感謝するとともに、お忙しい中いらっしゃっていただいた区の課長の方々にも、余り発言していただく機会が実は多くはなかったのですが、本当にありがとうございました。

ということで、一応何とかまとめることができました。この次のフェーズは設計のフェーズでございます。設計のフェーズはそれなりのプロの知識も必要ですので、われわれの手は離れていきますが、ぜひ委員の皆さま、あるいは傍聴されている皆さんには今後その設計なり、あるいは実際に新しい図書館がどういう形でできていくのかということに関してこれからも温かい目、あるいは厳しい目で見守っていただければと思います。

私もこの新中央図書館の隣の早稲田大学理工学部のキャンパスに、定年まで生きることができれば後13年ほど勤めます。ですので、この新中央図書館がきちんとできていくことを楽しみにしていきたいと思っております。

長い間、1年余にわたる委員会、いろいろ皆さま、ありがとうございました。

【 区長 】

皆さん、今回はこのような立派な答申をいただきまして、誠にありがとうございます。この新中央図書館の基本計画策定委員会の皆さまには1年2カ月にわたって、当初の予定を超えた回数で多くのご議論をいただきまして、このような答申をいただけたことを本当にうれしく思います。

先ほどこちらの皆さんの感想の中でも出てきたかと思いますが、新宿区では第1次実行計画という中で、時代の変化に対応して、いわゆるIT社会に対応した情報センターとしての機能も強化した新中央図書館、もちろんこれまでの従来の図書館の機能はしっかりベースに置きながら、今の時代に対応できる図書館を整備すると。

それから、移転先は早稲田大学理工学部の隣という、会長からもお話がありましたけれども、旧戸山中学校の跡地でつくっていきたいということで、22年度中にそのあり方を明らかにしながら、その後具体的な歩みを進めていきたいということで、まさに皆さま方にこの新中央図書館の大もとの考え方をつくっていただいたということで、感謝申し上げます。

今とても大切なことというのは、この策定委員会で、基本コンセプトとしていわゆる新宿の町が持っている強みを活かした『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまちというのが、新宿がめざす町の姿なのですけれども、そういったことを実現していけるその新宿の知の拠点をこの新中央図書館で果たしていくのだということで、この図書館が伝

える、支える、集うという各機能を皆さんの間で打ち立てていただいたということは、これから新宿の力を大きなものにしていける、そういった新中央図書館のスタートを切れることになったと思います。

実は、図書館というのは非常に多くの皆さんに利用されている施設です。区内の方々、いわゆる通常のサービスというので余りかかわっていないの方々にとっても多くの形で利用していただいている大切な施設であるわけです。ですから、その新中央図書館がまさにそこにより多くの皆さんの力となるような知の拠点としての、新宿ならではの、新宿というのは多くの方々も集う町ですし、ここで多くの方々安心して、それから、生き生きと暮らしていける。

ですから、豊かな人生を送るという話がありましたけれども、まさにそれぞれが本当によく生きていくための大きな装置としての新中央図書館の方向性を示していただきましたことに本当に感謝申し上げます。本当に傍聴もいただく中で、こういった答申をつくっていただきましたこと、大変すばらしいと思います。そして、本日ちょうだいいたしました答申を踏まえて、区と教育委員会は、新中央図書館等基本計画を今後策定してまいります。さらに、この計画を実現するために必要な施設や、先ほどお話がございましたけれども、施設や整備の設備の検討にも歩みを進めております。

ぜひ皆さま方におかれましては、まさにこの新中央図書館の基礎の考え方をつくっていただいた、ある意味で言えば、生みの親とも言えるような役割を果たしていただいたわけですが、そういった皆さんにぜひとも今後とも建設に向けた検討を見守っていただきたいと思っております。

会長からもお話がございましたけれども、オープンも本当に近くで、皆さんぜひ私たちの施設、新中央図書館をわくわくしながら、私も皆さんとともにつくっていくことができたらと思っております。本当にこの施設がいい施設になるような第一歩を刻んでいただきましたことを心から御礼を申し上げまして、あいさつといたします。

皆さん、本当にありがとうございました。

【 会長 】

それでは、第9回、そして、新中央図書館等基本計画策定委員会を散会させていただく。委員の方のご協力を得て、無事答申ができたことを厚く感謝する。どうもありがとうございました。

(了)